



条幅規定

師範正 松本 圭仙

ゆつたりとした構えの中から上下運動を利かし、深みあり、浅瀬ありの情景さえ感じさせるような、力みのない筆の働きて強弱太細が表現されている。このリズムを大切に、精進を。

条幅随意

成家 松原 華月

ほどよい墨量に自然な流れ、詩情を意識した墨色と心の静けさを感じる美しい余白。や、寒さが気になる秋の夜。夜空には美しい月や星。酒はぬるめの燗。忘れていた日本の風趣を感じる。

条幅随意(臨書)

師範正 小野 清舟

筆が大きく躍動し、堂々とした面構えは、顔真卿の深い味わいと、風格が感じられる。書き急がずに気脈よく、羊毛のふくよかな線が魅力的。下部になると単調になるのが今後の課題。



半紙規定

師範正 川久保由香里

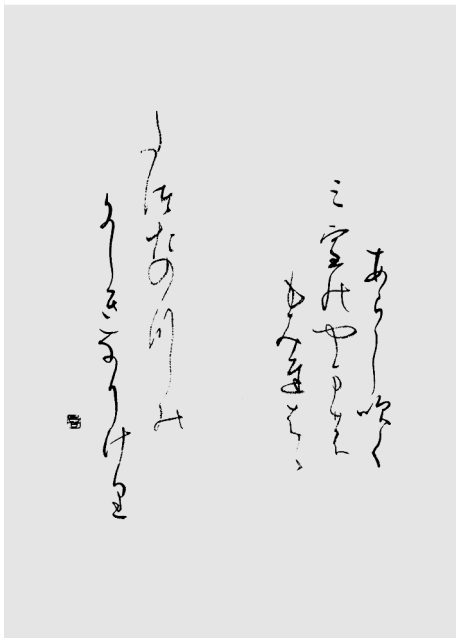
遅速緩急の変化があり、  
気力充分。墨色も冴え心の  
動きも良く見える佳作。今  
後はいろいろな書体にも挑  
戦し、力量を増やそう。



半紙随意

成家 伊良子喜代

気宇大らかに、凛とした  
筆線に魅せられる。自由に  
楽しく奏でるリズムは、習  
熟の深さからくる自然体で  
あろう。紙にも工夫があり  
秀作。



半紙随意(臨書)

準四段 相良 佳代

手首を柔らかく運筆し、  
呼吸長く、深く落着きがあ  
り、逞しい趣も漂わせなが  
ら完成度の高さもある。「継  
続は力なり」次回も期待す  
る。



半折½縦

師範 佐田 馨春

落筆高く、リズムに乗った大  
きな運腕が、顔真卿、空海の書  
を彷彿とさせ、気の充実が生命  
感を漂わせている。や、雅印が  
小さい感じもする。この場合一  
寸か二顆の押印が好ましい。

六年 工藤 柚月  
聖地

佳 稟  
書

も お り ま  
ゆい

二年 川野 唯華  
弘法

の 祈 道 り  
董

陽 香  
風 信

天 空  
雅 仁

大 師

中三 大 弘 法 師  
稟

小五 飯室 愛梨  
風 信

書  
羽 菜

ま な か  
さ る

学生部条幅 (1/4)

中二 六段 川野 唯華  
線に伸びやかさがあり、大きな筆遣いで堂々と書きましたね。さらに上段位を目指し、勉強や部活との両立を頑張ってください。

中須賀まなか  
小一 準8級  
ちからづよいせんでげんきのよい「さる」がかけましたね。おしゅうじのたのしさがさくひんからつたわってきますよ。

前田 ゆい 高園 雅仁  
小二 3級 小三 1級  
お手本をよくかみさつして、形よく、ていねいにかけています。なまえもしっかりとれんしゅうのできたさくひんです。

木原 羽菜  
小四 準四段  
さすが最優秀の常連ですね。パランスのむずかしい課題を上手くまとめた腕は立派です。今後さらに期待しています。

木村 佳稟 池田 陽香  
小四 1級 小五 準五段  
あたたか味のある線で、紙いっぱい元氣よく書けています。最後の終え終筆をていねいに書くとさらに良くなります。

飯室 愛梨  
小五 三段  
伸びやかな線で、大人顔負けの筆遣いに頭が下がります。名前の書き方も見事です。今後の作品にさらに期待しています。

工藤 柚月 重井 董  
小六 五段 中一 六段  
いつもながら、完成度の高い、立派な作品です。今は、リズムに乗った筆遣いも取り入れ、思い切りのよい線を目指しましょう。

野見山 栞  
中二・三 特待生  
中学三年生まで継続してきたことは立派です。作品もさすが、特待生らしく、線に伸びがあり、行書の自然な流れが見事です。

# 硬筆部最優秀作品

(11月28日締切分)

(坂元紫香先生評)

学校に  
いる  
いき  
ものや、  
見つけた  
ものを、  
いえのひ  
とに  
しらせよう。  
とに  
ささき  
さき  
にこ

テレビでは何台ものカメラを用意して、いろいろなうつし方をし、目的におつじて、放送をしています。  
松尾かおる

最上級生になったという喜びと、なんにでもがんばろうという気持ちに、あふれていた。だから、勉強も委員会の活動も、これまでに積極的に取り組んだ。  
大場 菜央

隣村に着いたころには、雨もやみ日は高く昇ってそろそろ暑くなってきた。メロスは額の汗をこぶしで払い、ここまで来れば大丈夫。もはや故郷への未練はない。  
古賀千寿

毎日  
会っている  
クラスの  
友だち  
どの人の  
ことも、  
もつと  
知りた  
いな  
米澤 桜雅

あたえられた小さいまどから小さい景色をながめるのでなく、自分の想像力でかべを破り、大きな景色をながめて判断できる人間になってほしい。  
石田ひより

最上級生になったという喜びと、なんにでもがんばろうという気持ちに、あふれていた。だから、勉強も委員会の活動も、これまでに積極的に取り組んだ。  
相良 百乃

空を飛ぶ発想は、もし自然界に鳥がいなかったら、湧かなかったかもしれない。飛ぶ鳥の出現は一億年よりも前という。片や人間は、引力に逆らう技術を手にして、たった百余年である。  
櫻井敏子

大豆はそのままでは食べにくく、消化もよくないため、手をくわえ、食べるくふうをしてきた。  
湯田佳士

あたえられた小さいまどから小さい景色をながめるのでなく、自分の想像力でかべを破り、大きな景色をながめて判断できる人間になってほしい。  
立野 仁花

隣村に着いたころには、雨もやみ日は高く昇って、そろそろ暑くなってきた。メロスは額の汗をこぶしで払い、ここまで来れば大丈夫。もはや故郷への未練はない。  
長尾 百花

空を飛ぶ発想は、もし自然界に鳥がいなかったら、湧かなかったかもしれない。飛ぶ鳥の出現は一億年よりも前という。片や人間は、引力に逆らう技術を手にして、たった百余年である。  
黒岩穂奈美

佐々木日香 小一 7級  
むずかしいかんじも、いっしょうけんめい、ていねいにかけています。なまえをもうすこし大きくかくとさらによくなります。

米澤 桜雅 小二 準4級  
マスいっぱい元気よく書いています。むずかしい名前も、しっかりとれんしゅうができています。これからがんばってね。

湯田 佳士 小三 2級  
力のこもった強い線が最初から名前まで気をぬかず、丁寧に書いています。このちようしでこれからがんばってください。

松尾かおる 小四 準初段  
明るくのびやかな線で、元気よく書いています。漢字より平仮名を少し小さく書くことさらに良くなると思います。期待しています。

石田ひより 小五 準四段  
漢字と平仮名のバランスの良い明るい作品です。今後は、ペンで書くことにも挑戦し、さらに上の段位を目指しましょう。

立野 仁花 小五 準初段  
少し漢字が大きくなった点は惜しいのですが、ペンを上手に使い、丁寧に書いています。上位有段者に負けない力があります。

大場 菜央 小六 四段  
明るい線で伸びやかに書いています。漢字と平仮名のバランスも見事です。今後は横画の右上がりに気をつけましょう。

相良 百乃 小六 準3級  
紙いっぱい、百乃さんの元気があふれています。ペンの使い方が上手く、上位有段者に負けない力の持ち主です。期待しています。

長尾 百花 中学 準特待生  
気のこもった強い線、お手本をしっかりと観察し、堂々と書いています。今後は、是非一般部へも挑戦してみましよう。

古賀 千寿 中学 五段  
ペンが少し太い点が惜しかったのですが、お手本の観察力は見事です。作品も安定感があり、今後の千寿さんに期待大です。

櫻井 敏子 一般 準師範  
お手本の観察力に頭が下がります。全体的にバランスが良く、明るい作品です。さらに上の段位を目指して欲しいと思います。

黒岩穂奈美 一般 六段  
いつもながら楷書の安定感は見事です。線に伸びやかさもありません。今後は、自己のリズムを取り入れた作品を期待します。